

事業所における自己評価結果

事業所名 ケセラキッズ

公表日 令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		十分なスペースの療育室が3つあります。個別単独の療育が中心ですので集中して取り組むことができます	子どもたちが駆けまわったり体を大きく動かして遊ぶときの安全管理に留意したいと思います
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		保育士、学校教員、音楽療法士、社会福祉士など多様な職種が関わることができています	OT,ST,心理士などの有資格者の配置を検討していきます
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		注意転導の強いお子さんや周囲への注意が苦手なお子さんがわかりやすいように配慮しています	お子さんの特性にあわせた環境の調整を継続していきたいと思います
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		明るく天井が高い療育室で楽しく過ごしてもらっています 清潔、清掃には日々気を配っています	机上課題をおこなうときにより落ち着いていられるような環境づくりを検討しています
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		メインの療育室のほかに2つの部屋があり活動内容な状況によって使っています	小集団でのスペースの利用や単独での利用など適切な判断をしていきたいと思います
	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		目標設定と振り返りについて毎日のカンファレンスをおこなっております	登録人数が多いのでカンファレンス対象とする頻度が低めです。より多くの機会を持てるように調整をおこなっていきたくです

業務改善	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	△		利用開始時にフェイスシートを記載いただいています	開始後の情報共有は主に面談に頼っています。今後定期的な評価表の導入をおこないたいと思います
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		常にスタッフ間での情報共有に心がけております 必要時にはワンオンワン面談もおこない職員の意見を療育に反映しております	スタッフ間のピアスーパービジョンの導入を検討しています
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	×		第三者による外部評価はおこなっておりません。	法人内他事業所スタッフによる評価など客観的な意見をもらう機会を作っていこうと思います
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内職員研修が年に4回企画されています	コミュニケーションに関する指導法であるベクス（絵カード交換式コミュニケーションシステム）のワークショップをそれぞれのスタッフが受講しています
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページ、インスタグラムで発信しています	より充実させていきたいと思います
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個別単独での療育ですので毎回詳細な記録を作成し、記録をもとに評価分析しております	アセスメントに必要な知識についてより研鑽を積んでいきたいと思います
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		療育に関わるスタッフ全員での会議をおこない検討しています	スタッフによる認識の違いがないようについていねいな情報共有をこころがけていきたいと思っています
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		療育に関わるスタッフ全員での会議をおこない検討し、共有しています	スタッフによる認識の違いがないようについていねいな情報共有をこころがけていきたいと思っています

適切な支援の提供

15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		療育の内容は詳細な記録を残し、スタッフ間で検討するなどしています。医療機関から提供される情報や検査結果も参考にしています。	医療による見立てや判断をより取り入れるために医療機関との連携をつよめていきたいと思います
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの項目について利用者さんの特性を評価して適切に設定しています	ガイドラインの理解をより深めていき、支援内容に反映していきたいと思います
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		チームでのカンファレンスで立案しています	継続していきます
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		新しい活動やおもちゃ、課題について日々情報収集しています	停滞しないように新しい内容を取り入れていきます
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		原則は個別単独療育ですが、それぞれのお子さんのメリットがある場合は小集団での療育をご提案しています 集団は固定することではなく流動的に臨機応変に運用しています	適切なスケジュール調整を行ってきたいと思います
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、話し合いを行なっています。	継続していきます

21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		個別の療育が終了するごとに職員での振り返りをおこなっています	パート職員もいるためにすべての職員でおこなえない時間帯もあるのですべての職員の意見が共有できるよう記録の周知の徹底を図っていきます
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		療育単位ごとに詳細な記録をしております	記録がより客観的なものとなるように記録様式の検討をおこなっています
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		児童発達支援管理責任者と療育スタッフとが参加するカンファレンスをおこなっています	隙間時間も利用してより多くの話し合いがおこなえるように工夫していきます
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		主に児童発達支援管理責任者が参加していますが療育スタッフも参加することもあります	より多くの現場スタッフが参加できるように調整していきます
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		医療機関との文書での報告や情報共有、カンファレンスへの参加などを保護者様の了解のもとおこなっています 利用者さんの通う保育所や幼稚園への訪問もおこない情報共有して療育に反映させています	保育所や幼稚園への訪問の頻度をあげていきたいと思っています
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っ	○		幼稚園、保育園など日常的に過ごしている場所での様子を見に時々スタッフが伺っています。情報共有し、療育の内容に反映させています。	より多くの訪問の機会を持てるように調整していきたいと思っています

関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		教育相談の過程での保護者様のご相談をお聞きしています。ご希望があればご本人の状況を文書にまとめて提出できるようにしています。就学前、就学後に支援会議を開催し、情報共有することもあります	よりていねいな情報共有と相互理解をもてるよう努力していきます
	28	(28~30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		△		児童発達支援センター「らいふ」「みらい」とは併行利用のお子さんを通しての情報共有や協働をおこなっています 必要時は連携して指導や助言を求めています	より緊密な連携をとっていきたいと思います	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	△		未満児さん以外は主な生活の場は保育所などになっています。スタッフが訪問して様子を確認させていただいたり情報共有しています	より緊密な連携をとっていきたいと思います	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、療育の内容についてていねいな説明をおこなっています。家庭や園での生活で困ったこと気になることをその都度お聞きして対応について相談しています	保護者様とお話する機会をより増やしていきたいと思います
	34	家族の対心力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		UCLA式ペアレントトレーニングに基づいて本人への対応方法などのご相談をしています	グループでのペアトレの開催も検討していきます
保護者への	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		計画更新時など適宜ご説明しています	継続していきます
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		毎回の保護者様との相談を踏まえて個別支援計画を作成させていただき、説明を経て必要なら修正しています	継続していきます
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			継続していきます
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		可能な限り毎回、保護者様とお話しています 本人の療育の日でなくてもご希望あれば電話でのご相談、面談でのご相談もおこなっています	継続していきます
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	×		保護者同士の交流の場、家族の交流の場については特に設けることができていません	保護者様の交流の会の開催について検討していきます

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		可能な限り毎回、保護者様とお話しています 本人の療育の日でなくてもご希望あれば電話でのご相談、面談でのご相談もおこなっています	継続していきます
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページ、インスタグラムでの発信をおこなっています。	多くの方に関覧していただけるよう取り組んでいきます
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護法の基準にのっとった配慮をおこなうだけでなく法の規定する範囲より広くプライバシーに留意しています	継続していきます
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		指導演法としてPECSや視覚支援の方式をとり入れるなどの配慮をしています	より充実させていきます
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	×		現時点では個人情報保護も鑑み、積極的に地域に開示する運営はおこなっておりません	発達障害への理解を促進する意味での事業運営については検討していきます
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	△		マニュアル策定し、職員への周知、訓練はおこなっていますが、ご家族への周知の機会は少ない状況です	文書の作成、配布など周知の機会を設けていきます
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCP策定されており、訓練をおこなっています	継続していきます
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		療育開始時に確認し、適宜情報を更新するよう努めています	更新漏れがないように定期的な確認をおこなうことを検討していきます

非常時等の対応	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	(○)		現在、食事の提供はしていません。必要があれば医師の指示を仰いでいきます	必要に応じて医師の指示を仰いでいきます
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修、訓練、定期的な確認などをおこなっています	継続していきます
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	×		安全計画については保護者様への周知はおこなっておりませんでした	可及的速やかに周知をおこないます
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		気づいた点について事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しています	継続していきます
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で虐待防止についての研修をおこなっています	継続していきます
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	(○)		やむを得ない身体拘束の例は今までありませんが、必要になった場合は適切に対応していきます	必要になった場合は適切に対応していきます